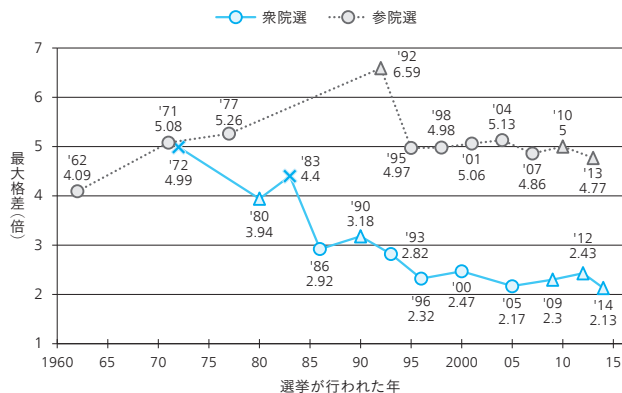


国政選挙における最大格差と最高裁判決



○は合憲判決、△は違憲状態判決、×は違憲判決を示す。

佐藤令「衆議院及び参議院における一票の格差」国立国会図書館「調査と情報」714号(2011)5頁に掲載されている図1を参考。

コラム3 AKB総選挙と株主総会

総選挙というと、高校生にとっては、衆議院議員の選挙よりも、AKB選抜総選挙のことをすぐに思いつくかもしれません。AKBの場合は、ファンクラブ会員やMobile会員のほか、指定されたCDを買って、中に入っている投票券から携帯で投票を行うという方法です。つまり衆議院選挙は1人1票ですが、CDによる投票券の場合、CD1枚で1票になり、CDを買えば買うほど、票が多くなります。1CD1票原則と言えます。

これに似た制度が、株式会社にもあります。株式会社では、会社に出資した人の持ち分のことを株式と呼んでおり、会社の運営方針を決める最高会議である株主総会では、1株1票が原則となっています。ですから多くの株を持っている人が、会社の運営に対して発言力

があることとなります。また企業を買収する際に、株式の買い付けを通じて、50パーセント以上保有することが目指されますが、これは1株1票だからできることです。

なお東京証券取引所のような株式市場に株を上場している企業には有価証券報告書が義務付けられており、それを読むと多くの票数を持っている人(大株主)がわかります。

衆議院総選挙などにおける1票はあくまで有権者という「人」であることによって平等に与えられることに意義がありますが、社会には必ずしも1人1票ではないこともあります。

コラム4 アダムズ方式って何?

2020年に行われる国勢調査後の衆議院選挙で導入されることになった「アダムズ方式」ですが、名前は聞いたことがあるけれど、「一体、何だろう?」って思っている人が多いでしょう。

日本で言われるアダムズ方式とは、人口の少ない県にも定数を割り当てるための1つの方法です。キーワードは「切り上げ」です。

なんだか難しそうなので、ストーリー仕立てで説明してみましょう。

橋が壊れちゃった

あるところにA村(人口1000人)・B村(800人)・C村(200人)という3つの村がありました。とある夏の日、この地域を台風が襲い、3つの村をつなぐY字の橋が壊れてしまいました。

そこで、橋を修理するための費用3000万円をどのように分担するかを話し合うために、それぞれ3つの村で代表者を選ぶことにしました。

ただ、代表者が多すぎても困るので、3つの村合わせて10人にすることにしました。

ところが、3つの村の人口はバラバラでした。そこで各村に定数10人をどのように割り振るのが問題になります。

